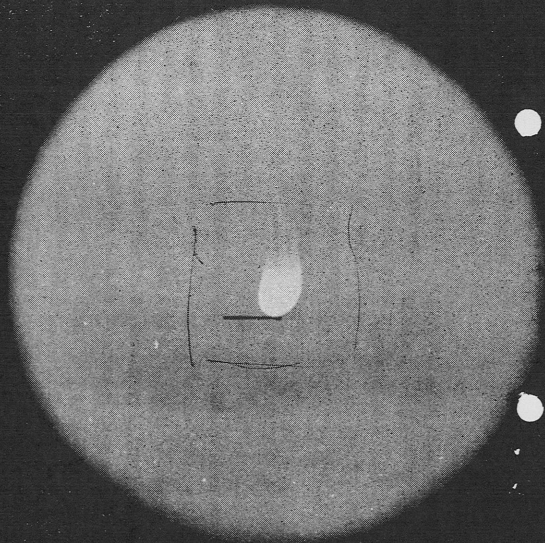


火の始末 人にたのむな任せるな

# 大 津 広 報

1967-3

春の全国  
火災予防運動



消防庁・日本損害保険協会

## 昭和四十二年年度予算案のあらまし

昭和四十二年年度予算は、三月十日招集予定の定例町議会に提案されますがその大綱を公表します。

一般会計予算案の総額は三億四千八百五十七万円で昭和四十一年度当初予算に対し八千五百二十一万千円の増加となつております。

予算額が大巾に増加した主な原因は役場庁舎の建設費や護国小学校の建設費、その他の建設的事業費で緊急度の高い事業は総べて当初予算に網羅することとし、特別な事由がある場合を除いては、追加予算をきけ、年間予算の原則を貫く方針で編成したため大型予算となつたものであります。

### 歳入

一 町税 町民税の個人均等割二百円を三百円に引上げ徴収率を九十七%としその他の諸税についても自然増収を見込み徴収率を九十六%以上に引上げ徴収の確保に努めることとした。徴収総額は七千二百三十七万円で前年度比六百五十三万円の増加となりこの町税が予算総額に占める割合は約二十一%になる。

二 地方交付税 地方交付税は前年度実績を基礎に本年度の伸び率を考慮に入れ、九千八百万円（これは町税総額より二千六百万円多い）を計上した。これは予算総額に対し二十八%となる。

三 使用料及び手数料 町営住宅使用料六百二十万円及び幼稚園の使用料を月百円宛引上げることとした外特記すべき事項はなく総額一千四百万円となる。

五 財産収入 建設的事業費の財源に充当するため、山林処分代二千円及び財政調整基金繰入金一千万円を計上した。

四 国及県補助金 建設事業に対する補助金として町営住宅建設補助金一千四百万円、護国小学校建設補助金三百三十四万円、国土調査補助金三百七十四万円、その他若草学園運営費二千三百三十四万円、老人ホーム運営費九百六十三万円等が主なものである。

六 町債 町有林造林債二百八十万円、町営住宅債五百五十万円、学校建設債九百万円、町民臨時減税種てん

債七百三十万円、社会福祉施設債二百五十万円、庁舎建設債二百万円を計上した。

### 歳出

一 総務費 現在の役場庁舎は太正十二年に建築されたもので老朽化したこと及び、町村合併により敷地並びに庁舎とも狭隘であり、庁舎新築の必要を認め昭和四十二年度から二ヶ年継続で新築することとし、庁舎建設費として三千五百万円を計上した。

二 民生費 (1)老人福祉活動として、大津保育園の前に六十坪の「老人憩の家」を建設するため四百三十万円を計上した。

(2)児童の健全なる発育と幸せのため平川に保育園（民間経営）が建設されるので、建設費の一部として六十万円を助成するとともに運営に関する経費を計上し、更に幸地区の児童遊園地の整備を行う為二十五万円を計上した

三 衛生費 (1)大津町菊岡村等五ヶ町村が一部事務組合を設け昭和四十一年度から菊岡村内に建設中の、「一原処理組合」が四十二年度で完成し九月頃から運営を始めると定めてあり、そのための建設負担金五百八十六万円を計上した。

(2)蚊や蠅の居ない文化生活を営むための家庭消毒の害虫駆除補助金八十八万円を計上した。これは前年度より一戸当り五十円の引上げとなる。

(3)その他町民の血液調査費や、こみ焼場の完成により、清掃用自動車の購入費等を計上した。

四 農林水産業費 (1)前年度水田の航空防除を行つたが害虫防除の効果が大きく、是非本年度は二回実施したいとの関係者の要望が強いため、二分百四十万円の助成を計上し米作り運動に努力することとした。

(2)農業用機械の発展に伴い農道を拡充、整備する必要を痛感し農道改良費を三百四十万円計上した。これは前年より八十万円の増加となる。

(3)昭和四十一年度から十ヶ年程の期間で国土調査（土地の一筆調査を行い、土地台帳を現況通り正確に整備する）を行うため四百三十八万円を計上した。

関係地域は森、吹田、大林地区である。

(4)その他優良家畜導入資金、百八十万円、合併農協育成

百九十万円、農薬構造改善事務費百万円及び造林事業費四百七十万円等を計上し農林業の振興を図ることとした  
 五商工費 (1)店舗改装利子補給条例を制定してから二ヶ年目になり、その利用者が増加したため七十万円を計上し、近代的店舗の改装に協力することとした。  
 (2)室宅宅園地下の私下国有林を自然公園とするための整備費及び大松山公園地内民間有地買上費計二十五万円を計上して公園の整備を図ることとした。

(3)その他商工会の助成金七十万円、ついで祭助成三十五万円等を計上した。

六土木費 道路維持費百七十八万円、道路改良費七百八十七万円、橋梁新設改良費三百八十八万円を計上し、町道の整備、県道の改修、古城橋、並びに井手上橋の架替等を行い道路橋梁の整備改善に努力することとした。

七防災事業費 鶴口橋上流から日吉神社下までの上井手護岸を補強して大雨期の災害を防止するため四十万円を計上した。

八教育費 (1)小学校護国中学校跡に護国小学校を移転するため鉄筋四百八十四平方米、木造二百七十二平方米を一千七百五十七円で改築することとし、平川地区に三百十万円でプールを建設することとした。其他町内全小学校五年生の机椅子を全部新調することとした。

(2)中学校護国中学校の統合による通学用のスクールバス購入費二百九十五万円、大津中学校音楽教室、百三十二平方米、二百五十三万円、プール浄化槽二百八十万円を計上し中学校教育施設の充実を図ることとした。

(3)その他公民館部落館の改築、改修費助成金七十五万円並びに大津史再版費三千万円を計上した。

水道特別会計

予算総額は一千五百五十五万円で前年度に比較し九十九万円の増加となっている。事業の主たるものは杉水地区簡易水道を源場地区に延長するため百七十万円を計上したこと及び、配水池から町営住宅立石団地間に配水管新設費百万円並びにメータ器修繕料百万円を計上した。

国民健康保険特別会計

予算総額は八千七百二十七万円で前年度に比較し一千百五十六万円の増加となっている。保険税は前年度一世帯

平均一万五百円であったが医療費の自然増加等を見込んで一万一千円に引上げた。(郡内各町村の内大津町が最低)

歳出は医療費が前年度より八百八十一万円も多くなったこと及び助産費一人費一人当二千円を三千円に引上げ、診療所費計に百二十万円繰出すこととした。

ブルドーザ特別会計

予算総額は二百六十二万円で前年度三十九万円の増加となっている。ブルドーザ特別会計の収支も人件費や燃料費等の増加に伴い現在の料金では運営が困難となることとが考えられるので使用料を次のように(県の料金と同額)改められることとした。

混層耕一〇アール当り一千九百元を二千三百円に農耕作業アワメータ当り二千五百円を二千八百円に農林用石油免稅の適用を受けない作業、一アワメータ一当二千六百円を二千九百元に改めることとした。

昭和42年度一般会計予算案別前年度当初予算比較表

歳入	前年度		比較
	本年度	前年度	
1町 税	72.037	65.884	6.153
2地方交付金	98.000	94.400	3.600
3分担金	2.048	329	1.719
4使用料	10.040	10.149	▲109
5国庫支出金	33.134	21.171	11.963
6県支出金	32.093	28.640	3.453
7財産収入	22.204	2.514	19.690
8寄附金	1.290	1.120	170
9繰入金	10.000		10.000
10繰越金	14.000	11.000	3.000
11諸収入	5.111	4.331	780
12町債	48.100	23.400	24.700
歳入合計	348.057	262.938	85.119

歳出	前年度		比較
	本年度	前年度	
1歳出費	9.003	7.951	1.057
2総務費	79.625	45.475	34.150
3民生費	41.187	29.326	11.861
4衛生費	15.599	13.074	2.525
5労働費	311	306	5
6農林水産費	31.866	29.191	2.675
7商工費	2.570	2.857	▲287
8土木費	44.112	37.881	6.231
9消防費	6.263	5.708	555
10教育費	81.682	53.152	28.530
11災害復旧費	2.161	8.990	▲6.829
12公債費	24.544	22.037	2.507
13諸支出金	2.000	2.000	0
14予備費	7.129	4.990	2.139
歳出合計	348.057	262.938	85.119

今年の農業改良普及計画

一、各種展示は場の設置

- (一) 水稻品種比較展示は二ヶ所
- (二) 水稻直播栽培展示は二ヶ所
- (三) 水稻栽培密度と施肥の展示は二ヶ所
- (四) 甘藷品種および多収種展示は二ヶ所
- (五) 落花生品種および多収種展示は二ヶ所
- (六) 里芋多収種展示は四ヶ所早熟栽培普通栽培
- (七) 麦作展示は五ヶ所
- (八) 飼料作物施肥法展示は二ヶ所
- (九) 果樹モデル展示は四ヶ所

二、水稲集団栽培の確立

- 三 集団栽培の部落 既設四ヶ所 新設六ヶ所 計十ヶ所
- 大津町既設、旧陣内四ヶ所

四、時期別講習、講話、研修調査検討会の開催

- 二月中旬 集団栽培組織強化座談会
- 三月中旬 用排水条件と土壌条件調査打合せ
- 五月上旬 集団栽培実施要領について
- 六月中旬 集団栽培の防除について
- 七月下旬 中下、追肥講習会
- 十月中旬、下旬 競作会審査
- 十二月中旬 検討反省会
- 十月中、下旬 出品集団部落十六

三、新米作り五石会

- (一) 時期別指導、検討会の開催
- 一月中旬 耕種基準作定、講演会開催
- 二月下旬 耕種基準作定
- 五月上旬 種子消毒と苗代設置について、堆肥増産品評会
- 五月中旬 苗代設置実演会、苗代防除について
- 六月中旬 苗代調査、管理指導
- 七月下旬 生育調査、追肥、防除、水管理指導
- 十月下旬 収量調査(坪別審査)
- 十二月中旬 稲作検討会

四、自営者冬期学校開設

堆肥増産品評会の開催五、七旬出品農家戸数二十戸  
多収種競作会十月下旬出品農家戸数二十戸

(一)目的 地域農家の三五才未満の経営主および後継者とその配偶者を対照として近代農業経営と技術および生活改善の知識と技術を習得させて今後の農業経営に対する指針を与え地域農村の改善を推進する

(二)開設方法 一、二部落、生活改善七十八人三五才未満 自一月一〜至三月時間数三〇〜四〇時間

(三)講師 普及員、農業、生活専門技術員、大学教授 市町村長協長、その他

五、青少年育成 菊池東部青少年連絡協議会、大津町四日クラブ男四十五名女二十二名計六十七名

(四)県研修会参加のための各部門別出席者十二名

(五)プロセクト発表 郡市大会十二名(各部門参加) 県大会五名、全国大会一、二名

六、経営診断 部門別調査戸数普通作四戸畜産部門五戸 果樹部門五戸、養蚕二戸、煙草二戸をさい二戸計二〇戸

七、果樹振興 (一)機関紙の発行年三回

(二)生活改善 (三)興幹部研修会 (四)地区リーダー研修 (五)食改善講習会の開催 (六)家計簿記入指導

農地補償の請求は早く 三月三十一日までが期限です

農地を農地改革によつて買収された個人及び団体等に對して支給される給付金の請求の終つてない方は受付期限が昭和四十二年三月三十一日までとなっています。早目に請求して下さい。

尚給付金の請求に當つて受給資格者が行方不明及び其の他の事由により請求の同意が得られない様な方は事由によつては請求が出来る様になりましたので申出下さい。(詳細については農業委員会事務局にお尋ね下さい。)

栗の植付検査実施

新植(四十一年四月より四十二年三月)について三月下旬に植付検査を実施する予定です。新植の方は栗部会か農業協同組合を通して検査の申請を出して下さい。

今年こそ赤痢を出さない

「赤痢!!!この言葉に私達はなれずきたのではないでし  
ようか？」

然し世界の文明国では影をひそめたこの伝染病にまだ私  
達は悩まされなければなりません。

最近の赤痢は、たしかに死亡者は少くなり余り驚かなく  
なったもの原因の一つに於てしよう。自分の部落に入ら  
ぬつたのは対岸の火事のように感じておりますが、悪魔の牙  
はたえず私達の周囲に機をうかがっています。

発見が遅れば集団発生

五月十一日を皮切りに、十一月七日まで幼児十六名、小  
学生三十九名、中学生一名、高校生一名、大人二十五名  
計七十二名の赤痢患者を出しました。

部落別では平川三十八名、後追十一名、灰塚一名、旧大  
津町内に散発的にあち、こちに出て十五名、矢護川二名  
杉水二名、森二名、米山一名となつております。

病状は、幼児、小学生等は、発熱、下痢、血便等、何等  
かの症状が出ていますが大人の大多数は、何も症状がな  
くて家族又は部落の検便によつて発見されたものです。

少し発見がおくれた地区では、家族内、部落内に感染し  
て集団的に発生し赤痢が伝染病であることを、あらため  
て私共に物語つております。

その損害ははかりしれない、

もしこれ等の人々を検便せずに放置していたら三角町の  
二の舞となり何百人もの患者を出し体力の弱い幼い小供  
の犠牲者を出していたかも知れません。その点快よく  
検便に協力下さつた方々に心から感謝致しております。

この間防疫などに要した費用は約二百五十万円に及んで  
おります。このほか個人的な損失を考えて見ますと、赤  
痢の入つた部落の牛乳がわかるまで、最低三日間は出荷  
が停止されて毎日数百頭の牛乳が捨てられ父家では豚を  
養う人がないままに安く処分されたり、労働力の不足に  
よる農作物の損害、肉体的、精神的苦痛を入れると、そ  
の損害は、はかり知れないものがあります。

では予防はどうしたらよいか

眼に見えぬ細菌との戦は、住民全部の協力と一人、一人

が自分を守る為の努力を必要とします。赤痢は夏の伝染  
病と云えなくなりました。冬でも流行することは、現在  
長崎県のある村で患者、保菌者七百五十名を出している  
ことでもわかると思ひます。では、予防はどうしたら良  
いでしょうか、赤痢菌は糞便と手し口と伝染してつきま  
す。この経路をどこかで切る必要があります。

ハ工油虫鼠を徹底的に駆除

①部落全体で定期的に駆除をすることが必要ですが  
そのほか各自大便所には、〇%ゾール剤を糞虫剤を  
置いて、大便のあと、ふり込みます。(サイダー瓶  
か二合位の酒瓶に入れ糞に五つ、六つ針で穴をあけ  
ておき、ふり込みます。

②畜舎の堆肥は出してすぐ、四、五日ビニールをか  
ぶせて、発生した熱でうちを殺す。白所くずはビ  
ニール袋に入れてゴムテープでしばり、ハエが卵を  
生みつけないようにして、チリ箱に入れる。

手洗の励行

③赤痢菌は、チリ紙五、六枚は通ると言われています  
。大便後は手洗いを完全にしたいのですが便所が  
手洗いのない家やあつても使用されない家がありま  
す。理想的に云えば、大便所内に手洗いの設備を完  
備しておけば理想的といえるでしょう。

④食事を作る人は、調理前に手を石けんを使用して  
水道の流れる水で洗ひましょう。

炊事場を清潔に 調理器具、布巾を清潔に特に布巾は  
洗濯して乾いたものを使用したいものです。

大田鉄治さん(鳥子川に  
黄十字功労賞)

小中学校の長欠児童をなくするために「黄十字会」とい  
う組織があつて援護活動を続けていますが、この程鳥子  
川の大田鉄治さんに対し黄十字功労賞と記念品が贈られ  
ました。大田さんは昭和二十六年から引続き児童(民生)  
委員として熱心に児童の育成に当たつていますが昨年華長  
欠児の援護に尽した功績が認められ今回の受賞に輝いた  
ものです。大田さんの功績をたたえ今後一層の御活躍を  
期待したいものです。

## 修学資金を 利用下さい

高校一五〇〇円 大学三〇〇〇円

母子家庭のしあわせを高めるためいろいろの貸付金制度があります。

その中で一番利用されているのが修学資金です。

これは母子家庭の児童が高校又は大学に進学するための学費を無利子で卒業まで貸付けるもので「日本育英会」又は町の奨学金とは違い父又は両親のない家庭の児童であれば誰でも申込みことが出来ます。

金額は、高校月一五〇〇円 大学は月三〇〇〇円の割合で県から貸出されます。

母子家庭で高校又は大学に合格し、この資金を借りたいと思う人は速座なく役場福祉課に申込み下さい。

## 国民健康保険

### 保険証の更新期です 異動があつたらすぐ届出を

毎年三月になりますと新保険証の準備をはじめます。皆様のお宅では資格の異動はございませんか。

すでに御存知と思いますが、四月一日現在の人員で保険税の賦課も行い、特別の理由を除き、年度内の家族の増減による税額の変更は行いません。もう一度保険証を御調べ下さい。生活保護世帯を除き次に該当する時は保険証及び印章(未加入は印章なし)を町民課窓口係に持参して届出をして下さい。

一、他町村よりの転入で何れの健康保険の資格をもつていない人、又他町村へ転出した人

二、就職等の為に社会保険の資格を取得した人(本人の場合月割で保険税の減額を行います。)又は退職の為社会保険の資格を喪失した人。

三、出生、死亡等による資格異動の届出が済んでない人、満十八才になり社会保険の資格がなくなつた人。

四、満六才になり社会保険の被扶養者となつた人。

五、結婚、分家等により世帯員の異動があつた人。

又町内での住所変更の場合も必ず異動届を行うこと前記に該当する場合、十日以内に届出をする事になつて

います。その他に助産及び非納費、育児手当(三ヶ月後)の支給も行つておりますが二ヶ年を経過すると貰えなくなりますのでご注意下さい。

昨年より医療費の七割給が行なわれておりますが今年は四月一日より助産費増額(二千円より三千円)も予定されております。保険税の完納に尚一層御協力下さいませ併せてお願い致します。

## 人権擁護委員を委嘱

任期満了に伴ない此の度び次のおり法務大臣より委嘱命令がありましたのでお知らせします。

室一七番地

下河辺清次(再任)

既に町には岩坂の本山堂重氏が委嘱され多方面に活躍中です。

人権擁護委員の使命

国民の基本的人権が侵されることのないように監視し、もし侵犯された場合には、その救済のためすみやかに適切な処置を採るとともに、常に人権思想の普及高揚に努める。

人権擁護委員の職務

①人権思想に関する啓もう宣伝

②人権擁護運動の助長

③人権侵犯(騒音、ばい煙、悪臭等)による公害の生活権

の侵害等)事件の救済のため調査、情報の収集をなし

関係機関への勧告等

④その他人権の擁護に努める。

## 青 年 学 級 三月二十九日に終了式

今年の青年学級は愈々三月二十九日で終了する。

女子中央学級一月八日より毎日午前九時より午後四時までで全日制で三ヶ月の学習を終り、和哉科目三六〇時間一級教養科目二〇時間 農芸科目二〇時間を学習し次代の農村後継者としての資質の向上につとめた。

男子中央学級一月八日より毎週五時間計六〇時間の学習を計画し、主として農芸科目を中心に畜産、普通作、養蚕の三グループに分れて学習をした。



### 上井手の水止

上井手土地改良区では定期水止を実施しますが、防火対策等に充分な準備をして下さい。

三月九日午後五時より三月三十一日午前五時まで

### 県道改修

県では現在町内の主要県道の改修を行っており皆様にご迷惑をかけていますが、しばらく協力方をお願いいたします。

矢護川大津線 仲町附近改良

山鹿大津線 鶴口より産葉開発青年隊まで舗装

下町大津線 灰塚附近改良

大津甲佐線 高校及中陣内住宅舗装

### 九州測量専門学校の創設

市内立田(武蔵塚)のふもとに九州測量専門学校が創設されました。将来土木技術者となりたい希望の方々に入学をおすすめ致します。

①卒業と同時に国家試験免除で測量士補の資格付与

②実務経験二ヶ年で測量士の資格取得

③土地家屋調査士の試験は法規の試験のみで他は免除

募集人員 一〇〇名

募集期間 自三月一日至三月二十日(第二次試験)

受験資格 高校卒程度 修業年限 一ヶ年

試験期日 第二次三月二十五日

試験科目 数学Ⅰ(微分積分を除く)

物理(物性、熱、光)作文

詳細については建設課へ

### 県庁舎見学

新県庁舎はこのほど完成をみ三月三日より事業を開始しました。県では新庁舎の見学を希望される人のために

次の通り案内要領が定められましたのでお知らせします

見学開始 三月十日(陽)午前中(学校関係、午後二時)

案内時間 午前十時~十一時(各校関係)

午後一時三十分~三時三十分(一般)

土曜は午前中のみ 所要時間は約一時間です

案内フリーントを差上げます。

申込先 熊本市出水町今九一五熊本県総務部広報課

県民係電話(熊本)一一一

見学申込みは少くとも一週間前までにして下さい。

### 陶器市観光団募集

昨年好評を得ました陶器市観光団を本年も募集致します。貸切専用列車で乗換なく快適な旅行が出来ます。年一度の窯開きを見物し、このみの品を自由に選んで買えるおたのしみ日帰り旅行に御参加下さい。

とき 四月二日 肥後大津駅七時三十九分発

二時二分着

瀬田駅 七時三十分発

二時二六分着

会費 二二五円(概算)

ところ 有田駅より自動車十五分有田焼窯元

お申込 肥後大津駅 五九番

瀬田駅 三四二番村上商店次



### 老人ホーム慰問

一月十五日 松古開六山鎮園様 ヒロス六一ヶ

二月十五日 仲町松野ヘルノ様 七吉田セツ四九忌につき

ヒロス五五ヶ物多数

二二日 高尾野分校母体学級代表矢野エイ子様外十

一名菓子多数

十六日 矢護川原口山びこ子供会会長田上利信様外

十九名モチ一六四ヶ菓子多数、演芸

二七日 上鶴村上登喜子様、カン一五五菓子二十袋



善意



社協寄附金

二月

- |     |         |               |     |     |               |               |       |
|-----|---------|---------------|-----|-----|---------------|---------------|-------|
| 一日  | 一〇〇円    | 松永博雄殿         | 森   | 十六日 | 二〇〇円          | 府内勝興殿         | 平川    |
| 六日  | 一、〇〇〇円  | 長男隆雄殿出生オギヤ一献金 |     | 十六日 | 次男興宣殿出生オギヤ一献金 |               |       |
|     | 一、〇〇〇円  | 大藤孝治殿         | 中陣内 |     | 三〇〇円          | 吉良剛殿          | 真木    |
|     |         | 長女由美殿出生オギヤ一献金 |     |     | 次男政治殿出生オギヤ一献金 |               |       |
|     | 一、〇〇〇円  | 古庄喜徳殿         | 平川  | 二十日 | 五〇〇円          | 三池夏子殿         | 平川    |
|     |         | 亡妻ソメ殿の香典返し    |     | 二二日 | 一〇〇円          | 吉永光次殿         | 井手上住宅 |
|     |         | 亡祖母ミツル殿の香典返し  | 仄塚  | 二二日 | 一〇、〇〇〇円       | 中野明殿          | 御所原   |
| 十日  | 一〇、〇〇〇円 | 今村泰二殿         | 仄塚  | 二四日 | 一〇〇円          | 笠原みね子殿        | 本町三   |
| 十三日 | 一〇〇円    | 菅尾六男殿         | 村西  |     | 一〇〇円          | 田上明殿          | 矢護川   |
|     |         | 長男隆登殿出生オギヤ一献金 |     |     | 一〇〇円          | 松本清登殿         | 平川    |
| 十五日 | 五、〇〇〇円  | 荒牧達也殿         | 内牧  |     |               | 次女照美殿出生オギヤ一献金 |       |
|     |         | 亡長男盛也殿の香典返し   |     |     |               |               |       |

進学就職期は気がゆるみがち

ほのぼのとした春がおとずれました。此の季節には進学、卒業、就職等の年令にある少年にとつてはいろいろと明暗の多い時です。少年の希望する進学や就職が不幸にして希望通りに出来なかつたとしても、再出発する勇氣を出すよう勵ましてやりましよう。

高校や大学に行くことのみが人生の幸への道ではなく人にはそれぞれ他人にないすぐれた特徴を持つてゐるものです。

その特徴を生かした進学や就職をさせることが幸への近道ではないでしょうか。

この季節には学生、生徒が学校生活から開放され、気のゆるみから非行に走りがちであります。

温い眼で非行に走らないよう見守つてやりましよう。

大津警察署

税金の納めすぎは

給料や配当などから源泉徴収された税金が納め過ぎになつてゐる方は、税務署に確定申告書を出されると納め過ぎの税金を払い戻してもらえます。

たとえば、外資員や集金人の方で、毎月の報酬などから税金を天引きされている方や、給料生活者の方で、ご自分やご家族の方が病氣したため多額の医療費を支払つたとか、昨年の中途で退職し、その後ほかの仕事につかなかつたために年末調整を受けておられない方、また同じく給与所得のある方で、盗難とか災害で損害があつたという方などは、確定申告されると税金が戻つてくる方たちです。そのほか、株式の配当や原稿料から天引きされた税金があるような方の中にも払い戻しを受けられる方がおられます。

このように一度天引きで納められた税金をお返しするのを、税務署では源泉所得税の還付と呼んでいます。

この源泉還付の確定申告書は一月以降であれば、いつでもお出しになれます。

菊池税務署



叙勲伝

四一年七月から十月第二八回〜三一回)までに発令された、戦没者に対する勲章並びに勲記の伝達が去る二月二八日役場議場において実施されました。

勲位 階級	戦没者氏名	遺族氏名	住所
旭七 伍長	児島聖	児島コノエ	引水
旭八	矢野永利	矢野鉄也	御所原
旭八	豊家謙一	市原マヤ子	室
旭八	宇野鉄男	宇野勲	馬場
兵長	坂本政行	坂本サニ	森
兵長	江藤進	江藤正	岩坂
兵長	大塚未人	大塚繁雄	下町
兵長	合志政雄	合志セツ子	大林
兵長	郷為俊	郷ユキ子	内牧
旭七 一等機関兵曹	吉本勝	吉本トリ	頼田
主計曹長	吉本義夫	松本トキエ	上天津
伍長	小笠原政男	小笠原チト	岩坂
旭八 兵長	藤本路義	藤本静雄	森
兵長	太田黒政志	太田黒フヨ	下町
兵長	西村軍勝	西村ウラ	森
兵長	金田初義	金田辰記	米山
兵長	野田清喜	野田重雄	中陣内
兵長	岡田武雄	岡田利平	森
兵長	藤原武雄	山辺タニ	真木
兵長	真田照親	真田りつ子	岩坂
兵長	梶原勘吾	梶原学	室
兵長	荒川茂	荒川一女	下中
二等兵曹	丸山隆義	丸山憲義	室
二等兵曹	今村義隆	今村智幸	灰塚
水兵長	大谷浩	大谷ウタニ	引水
水兵長	岡嶋又雄	岡嶋光平	ク
工作兵長	坂田正博	坂田兵衛	鶴口
上等水兵	坂本末善	坂本末男	吐
上等機関兵	大山勝	大山タツ子	室
上等工作兵	大塚武雄	大塚武英	ク

旭八 軍医	西本仁	西本豊	中島
旭七 伍長	中野倭夫	中野広	内牧
旭八 伍長	坂田福己	坂田マヤ子	森
旭八	坂本俊雄	坂本要蔵	引水
旭八	松本正人	松本ハツニ	高尾野
旭八	杉水義男	杉水左内	杉水
旭八	西島初次	西島シズ	矢護川
旭八	大田黒義盛	大田黒スエツ	中島
旭八	吉永為八	吉永清吉	陣内
旭八	木村正明	木村オサメ	灰塚
旭八	合志辰蔵	合志ヘルコ	大林
旭八	上村義広	上村ツヤ	吹田
旭八	西本精一	西本徳平	岩坂
旭八	桑原八重松	桑原マスエ	日吉町
旭八	佐藤武吉	佐藤ワイ	引水
旭八	荒木静	荒木ハツメ	岩坂
旭八	山本忠光	山本ツメ	大林
旭八	衛生兵長		



電気器具上手な買い方  
型式認可のあるものを

最近のように電気器具が数多く出回ると、電気器具を  
買う場合に、いろいろ判断に迷つて困る場合があります  
そこで電気器具を買う場合に心得ておきたい事項をあげ  
てみましょう。

まずマーク(型式認可)があるものをえらぶことです。マ  
ークのあるものは、国で製品を試験した結果、合格した  
ものであるというしるしで、ネームプレート(銘板)に書  
いてあります。つぎに、信用と技術のある店で買うこと  
です。電気器具は長い間使用するものだけに買ったあと  
でも、よく面倒をみてくれる店で求める方が便利ですよ。  
これには、前もつてそのお店の評判をよく調べておくこ  
とです。また買おうとする器具についての正しい知識を  
身につけることも大切です。電気器具店によく相談した  
り、実際に使用している人にきいたりするのがよいでし  
ょう。家族の人数や部屋の広さに適した器具をえらぶこ  
とも忘れないでください。

九電大津営業所

### 春の全国火災予防運動

二月二十八日・三月十三日

本年も恒例の春の全国火災予防運動が始まりました。家庭における火災の出火原因のほとんどが、日常生活における火気の取扱いに對する不注意、不始末によるものです。

特に春は空気が乾燥しており、火災にかかりやすい毎日が続きますので、各家庭では火気の正しい使用と管理方法を充分注意される事が、もつとも重要なことです。

次の事に留意し火災予防に御協力をお願いします。

- 一、石油、ガス類のコンロやストーブは取扱いに充分気を付ける。
- 二、煙突は火の粉が飛ばぬよう常に点検整備をする。
- 三、タバコの吸いがらは、水を入れた容器にかならず入れるよう習慣づける。
- 四、カマドやストーブ等の近くに燃えやすい物を置かぬようにし、燃えがらを放置しないようにする。
- 五、外出するときや、やすむ前には必ず、火の元の点火をする。

家庭に消火器を置いて、万一の火災に備えましょう。

### 焼かない注意

### 焼いて泣くより



大津広報

昭和四十二年三月発行  
毎月一回発行通巻一九二月号

### 三月のアルコウ会

日時 三月十九日(日)

コース 三里木駅・黒石原・百花園  
集合 三里木駅 午前九時三〇分

### 見事金的

### 大津町に1・2等当せん者



お年玉つき年賀ハガキ等のテレビを見事に射止めた幸運の人が大津町に。

御所原の中野乙さん(三十五才)で、正月にもらつた年賀

ハガキ三十数枚のうち一枚がビタリ

差出人の笠野清富士さんとは、昨年中野さんが入院中知

り合いになり、もらつた年賀ハガキ一一九組の七六八

四〇三がそれ、中野さんはまさか一等に當つているなど

思いもせず一度は下三ヶタまで調べあきらめていたのを

父、久さん(七十一才)がたんなんに調べて見つけ出したも

ので、家族の人達も蔭の功勞者久さんを囲んで二台目の

テレビの出現に大喜び。平真城郵便局長の手続きで、送

つて来た真新しいテレビは早速二階の子供達の勉強

部屋へ運ばれた。中野さんは「これで子供達のモチヤン

ネルのうばい合いもなく、昨年は不運な事故続きで

くさつていたが、今年とは正月早々からの朗報できつと良

い年になりそうだと語つていた。

尚中島の合志武一さん(七十一才も二等に当選ポーターブ

ルラジオが贈られた。

発行所 大津町中公民館  
印刷所 大津町坂本印刷所